

令和8年4月6日

各高等学校長 様

栃木県高等学校体育連盟  
会 長 大 牧 稔  
栃木県高等学校体育連盟卓球専門部  
部 長 佐 山 利 晴  
(公印省略)

令和8年度栃木県高等学校総合体育大会卓球競技会兼令和8年度第76回関東高等学校卓球大会栃木県予選会の開催について

このことにつきまして、下記要領にて開催致します。つきましては貴校生徒・職員の参加について、よろしく御高配くださいますようお願い致します。

記

1 主催 栃木県高等学校体育連盟 栃木県教育委員会

2 主管 栃木県高等学校体育連盟卓球専門部

3 競技種目

(1) 男女学校対抗 (2) 男女シングルス (3) 男女ダブルス

4 期日・種目・会場

4月30日(木)【学校対抗】日環アリーナ栃木(栃木県総合運動公園) 8:30開館・集合  
宇都宮市西川田4-1-1 TEL:028-658-5900

5月4日(月)【シングルス】ブレックスアリーナ宇都宮(宇都宮市体育館) 8:30開館・集合  
宇都宮市元今泉5丁目6-18 TEL:028-663-1611

5月5日(火)【ダブルス】ブレックスアリーナ宇都宮(宇都宮市体育館) 8:30開館・集合  
宇都宮市元今泉5丁目6-18 TEL:028-663-1611

※学校対抗およびシングルスが1日で終了しない場合、翌日に繰り越すことがあります。

5 競技規定

(1) 現行の日本卓球ルール及び栃木県高体連卓球専門部ローカルルールを適用する。

(2) 使用する卓球台は、(公財)日本卓球協会公認台とする。使用球は、(公財)日本卓球協会公認プラスチック40mm白球(ニッタク製)を使用する。

(3) 今年度もしくは昨年度の(公財)日本卓球協会ゼッケンを背中につけること。昨年度のゼッケンを着用する場合は所属校を明確にすること。

(4) 令和8年度第76回関東高等学校卓球大会(栃木県宇都宮市)出場枠は男女とも下記のとおりとする。

①学校対抗5校 ②シングルス12名 ③ダブルス2組 (いずれも開催県追加枠を含む)

6 競技方法

(1) 全種目とも11本5ゲームズマッチのトーナメント方式とする。

(2) 学校対抗については、次の方法で行う。

①登録人数は4~8名とする。

②4~6名による4シングルス1ダブルスの5試合3点先取で勝敗を決める。

ただし、1・2番のシングルスに出た者同士で3番のダブルスを組むことはできない。また、シングルスは全て異なる選手とする。

順序	1	2	3	4	5
形式	S	S	D	S	S

S:シングルス

D:ダブルス

③試合は、進行状況により2~4コートを使用する場合がある。

④代表決定戦(5位決定戦)を行う。

- (3) シングルスについては、順位決定戦は行わず、抽選で上位大会への出場順位を決定する。
- (4) ダブルスはベスト4決定後、リーグ戦を行う。

## 7 引率・監督

- (1) 出場チームの選手は、必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は、選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は県高体連会長に事前に届け出ること。(別紙様式)
- (3) 監督(学校対抗監督)・コーチ(個人戦アドバイザー)等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。但し、引率・監督について学校の設置者が定める規程がこの基準より限定された範囲内であればその規程に従うことを原則とする。
- (4) 学校対抗監督及び個人戦アドバイザーが外部指導者の場合は、申込み締切日までに「外部指導者申請書」を提出すること。なお、当日の外部指導者の変更は同申請書(公印捺印必要)を提出することで認められる。但し、追加申請をすることはできない。外部指導者を申請する場合は、必ず申込書と一緒に申請をすること。当日の追加は認められない。なお、各チームの外部指導者の人数は男女別2名までとする。

## 8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中・留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、栃木県高等学校体育連盟加盟校の生徒であること。また、今年度(公財)日本卓球協会に登録される生徒であること。
- (3) 年齢は、平成19年4月2日以降に生まれた者とする。ただし出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。また、部員不足のため、単独での参加ができない学校については、当該専門部長の承認があれば、合同チームとして大会参加を認める。その場合は栃木県高体連会長に報告すること。
- (6) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる。)但し、一家転住等やむを得ない場合は、当該専門部長の承認があればこの限りではない。その場合は、栃木県高体連会長に報告すること。(関東大会・全国総体出場の場合には会長の承認が必要。)
- (7) 選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該学校長の承認を必要とする。
- (8) 全国高校総体・関東大会の予選を兼ねるものについては、(公財)全国高体連・関東高体連で定めたものによる。
- (9) 参加資格の特例
  - ア 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たす生徒について別途に定める規程に従い大会参加を認める。
  - イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

### [大会参加資格の別途に定める規程]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、栃高体連に登録している生徒であること。
- 2 以下の条件を具備していること。
  - (1) 大会参加を認める条件
    - ア 高体連の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間帯が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際して守るべき条件
    - ア 栃木県高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること

## 9 参加制限

※全種目ともオープン参加ではないので注意すること。

### (1) 学校対抗

- ①前年度「県高校新人」ベスト8以上の学校。
- ②各支部予選会の通過校。各支部の通過枠は下記のとおりである。

	北部	中部	南部
男子	6	10	8
女子	4	8	6

- ③外国籍留学生は2名以内とする。なお、外国籍留学生は、1試合に1名が1度のみ（シングルス・ダブルスを問わず）出場できる。

### (2) シングルス

- ①次に挙げるシード選手。

(ア) 前年度、下記大会のいずれかでシングルスベスト16以上に1回、もしくはシングルスベスト32に複数回入った選手。

「関東高校県予選」「全国高校県予選」「国<sup>都</sup>県予選」「全日本ジュニア県予選」  
「県高校新人」「東京ジュニア県予選」

(イ) 「全日本一般県予選」において、ベスト8以上の選手。

(ウ) 新入生（県外含）で中学時に、下記大会に出場経験のある選手。

「全日本一般・ジュニア」「全国中学シングルス」「国<sup>都</sup>本大会・ブロック大会」  
「東京一般・ジュニア」

※ただし、東京ジュニアにおいては、東京都のみ出場枠が多いため、該当しない。

- ②各支部予選会の通過者。各支部の通過枠は、下記のとおりとする。

	北部	中部	南部
男子	40	64	48
女子	24	48	32

### (3) ダブルス

- ①次に挙げるシード選手。

(ア) 前年度、下記大会のいずれかでダブルスベスト8以上の選手（片方可）。または、前年度、下記大会でダブルスベスト16に複数回入った選手（片方可）。

「関東高校県予選」「全国高校県予選」「県高校新人」

(イ) シード対象選手と、ポイントがない他県から進学した新入生がペアを組む場合は協議し、上位シードを与えることがある。

新入生（県外含）で中学時に、下記大会に出場経験のある選手。

「全日本一般・ジュニア」「全国中学シングルス」「東京一般・ジュニア」

- ②各支部予選会の通過者。各支部の通過枠は下記のとおりとする。

	北部	中部	南部
男子	16	32	24
女子	12	32	16

## 10 申込方法

### (1) 申込書作成について

- ①HPより申し込みファイルをダウンロード・作成する。

- ②締め切り日までにメール・郵送（公印付）をする。

※支部予選通過者についても、県大会の申し込みをすること。

### (2) 申込書記入上の注意

※申込書右上の学校番号欄に2桁の学校番号を入力すること。

#### ①学校対抗

(ア) 監督については、「顧問・部活動指導員・外部指導者」のいずれかに○を付ける。

(イ) 外国籍留学生については、備考の欄にその旨記入する。

(ウ) 支部予選会通過後に選手変更がある場合は、変更したものを県大会の申込書として締め切りまでにエントリーすること。

②シングルス・ダブルス

校内ランキング順に記入すること。

③外部指導者申請書

(ア) 外部指導者が、学校対抗監督や個人戦アドバイザーとなる場合は、外部指導者申請書を提出すること。その際、外部指導者の合計人数に注意すること。

(イ) 外部指導者申請書も申込締切までに申請すること。7 (3) のように、当日の追加は不可とする。

(3) 申込先

※メールと郵送の両方をお願い致します。郵送のものは公印押印したものをお送りください。

○メール (2カ所へ送信)

①【A】 受付者 (全体受付者) ②【B】 受付者 (支部連絡委員 (各支部により異なる))

※申し込みファイル名は、高校名の前に2桁の学校番号をつけること。

※ファイル名は「00〇〇高校 R8 関東県予選申込み」と入力し、ファイル内のタブは分解せずにHPの様式のまままで送信すること。(入力例: 01 宇都宮高校 R8 関東県予選申込み)。

※外部指導者登録をする学校は申請書タブを記入して送ること。

○郵送 (1カ所のみ)

①【C】 受付者 (審判部長)

※封筒に「高体連申込書在中」などと朱書きをすること。

※外部指導者登録をする学校は申請書を同封して送ること。

【A】 受付者	栃木高校	石川 瑛康	TEL: 0282-22-2595	ishikawa-t11@tochigi-edu.ed.jp
【B】 受付者	北部支部	那須清峰高	酒井 祐貴	TEL: 0287-36-1155 sakai-y04@tochigi-edu.ed.jp
	中部支部	真岡北陵高	大森 裕樹	TEL: 0285-82-3415 ohmori-h02@tochigi-edu.ed.jp
	南部支部	足利清風高	花川 雄志	TEL: 0284-62-5193 hanakawa-y01@tochigi-edu.ed.jp
【C】 受付者	県立那須清峰高等学校	酒井 祐貴	〒329-2712 那須塩原市下永田 6-4	TEL: 0287-36-1155

(3) 申込み締め切り

令和8年4月22日 (水)

不参加の場合も【A】 受付者及び【B】 各支部担当者へメール等で連絡すること。

支部予選通過校・選手も申込みをすること。

11 組合せ日時

令和8年4月28日 (火) ※顧問会議開催日

顧問会議実施日に、個人戦 (シングルス・ダブルス) については、栃木県高体連卓球専門委員にて行う。学校対抗については、顧問会議終了後に出場校顧問が抽選に参加の上実施する。(顧問欠席の場合は専門委員代理抽選)

組合せ編成完了次第、栃木県高体連卓球専門部 HP に掲載する。【 <https://tochigi-ko-tt.chu.jp/> 】

12 安全管理

(1) 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃木県高等学校体育連盟「危機管理マニュアル」に則り、適切に対応する。

13 問合せ先

栃木県高体連卓球専門部 県立真岡女子高等学校 星野 朗 TEL 0285-82-2525

14 その他

(1) 上位大会について

令和8年度第76回関東高等学校卓球大会【**栃木大会**】

日時: 令和8年5月29日 (金) ~ 5月31日 (日)

場所: 日環アリーナ栃木

栃木県宇都宮市西川田 4-1-1 TEL: 028-658-5900

(2) 令和8年度栃木県高体連卓球専門部顧問会議について

別紙要項のとおり開催します。

(3) 今大会時に、栃木県卓球連盟加盟金を集金致します。HP 県卓連よりのページに文書を記載してある他、顧問会議でも連絡致しますのでご承知おきください。